

～湘北地区の世帯数・人口～		
地域	世帯数	人口
鶴が台	2,467(-2)	4,255(-54)
香川	4,940(+69)	11,670(-4)
松風台	640(+9)	1,499(-2)
甘沼	2,218(+1)	5,411(-19)
みずき	1,218(+22)	3,321(+8)
湘北地区	11,483(+99)	26,156(-71)
茅ヶ崎市	104,459(+1,382)	242,586(+574)



発行日 2021年3月1日
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 杉山茂紀
 発行部数 9,000部
 編集 広報委員会 深栖 健男

・ 2021年1月1日現在。()内は対前年同月比。



特集 コロナ禍における福祉について

つながりを絶やさない地域の支え合い活動

昨年から続くコロナ禍において、高齢者や、小さいお子様を子育て中のご両親、障がいを持った方など、様々な場面で行動が規制され、コミュニケーションが取れないまま過ごされている状況が続いております。そんなコロナ禍でも、各地区で身近から出来ることを工夫し、活動をされています。今回はその取り組みの一部をご紹介します。

鶴が台団地評議員会の取り組み

新型コロナウイルスが発生してから一年が経過、年が明けても感染者が増加し、十一都府県に緊急事態宣言が出される等、大変な時代となりました。鶴が台団地は高齢化率が高く、不安な日々を送っている方が多いと思っております。鶴が台団地評議員会ではサロン活動として、すこやかサロン（高齢者対象）、わを広げよう「たんぽぽの会」（障がい者と家族の方対象）をそれぞれ年間4回開催してきましたが、いずれも中止となりました。

担当者たちは「つどい」の中止とコロナ禍のお見舞いと、励ましの気持ちを参加者全員にお届けしたいと考えました。「たんぽぽの会」はスタッフ全員が寄せ書きをした色紙・マスク・マスクケースを十一月にお届けしました。「すこやかサロン」では、十月に折り鶴を入れたお便り、お正月に新年のご挨拶をお届けしました。皆さまからは大変喜ばれての電話を何本も頂きました。コロナ禍で活動が制限されていますが、あまり思い詰めることなく、明けない夜は無いと信じたいと思っております。ワクチンについても準備が進んでいるようですので、早期実施と効果を願っております。鶴が台団地評議員会 代表：森井香代子

松風台ボランティア団体「つむぐ 絆」発足

松風台ボランティア団体「つむぐ 絆」は、2020年の夏に松風会から分離され、松風台自治会のボランティア団体として認められました。茅ヶ崎市老人クラブ連合会でこうした活動があり、茅ヶ崎市内では25くらい活動しています。鶴が台、甘沼も2020年度からスタートしました。毎回15～20名前後の方が参加し、今の想い、悩んでいること、困りごと、出来事、皆さんにも注意してほしいこと、等々思い思いに話します。民生委員の方も参加しているので、様々な情報交換ができ、困りごとが解決することもあります。1人暮らしの方、現在介護中の方、介護を経験された方…など松風台にお住まいの方ならどなたでも参加できます。毎月1回（月末の日曜日）松風台自治会館にて開催しており、参加費は無料です。

「つむぐ 絆」代表：立花京子



分科会活動内容紹介



セカンドライフを楽しむ会 “認知症予防の為に” 楽しく歩いて健幸に！

セカンドライフを楽しむ会が下記のように実施されました。コロナ禍においても感染対策をしっかり行い、晴天に恵まれた秋の一日を皆さんで楽しく過ごしました。

日時 2020年10月7日(水) 9時30分～11時30分

場所 樹木センター (甘沼)

参加人数 10名

実行委員 13名

- 9時～ 受付 体温測定
- 9時30分 挨拶と日程説明と注意
- 9時43分 樹木センター着
- 9時50分 認知症予防のための話
- 9時57分 ラジオ体操 第1と第2
- 10時5分 ペタンク
- 10時50分 フィールドビンゴ 自然を観察するゲーム
- 11時25分 ボランティアセンター着 お弁当等配布・解散



ペタンクの優勝者は有元さん



参加者とスタッフ全員で記念写真



地域福祉を考える懇談会

今年度の地域福祉を考える懇談会では、コロナ感染防止を最大限に配慮し、対面の懇談会を極力減らし、湘北社協では初めてオンライン会議システムを活用して2020年12月3日に実施しました。香川公民館、湘北ボランティアセンターをオンラインでつなぎ、さらに、参加者のご自宅や事業所さんともオンラインでつなぎ、懇談会を行いました。みずき自治会からITの専門家もお呼びし、事前に接続テストなどを行い、当日はスムーズ且つ、活発に懇談会が出来ました。コロナ禍において、困ってることや、問題点、悩みなどを共有し、有意義な懇談会となりました。湘北社協としてこの懇談会で出た情報をまとめて、今後の問題解決につなげていければと考えております。



少人数で集まってオンライン会議を実施



オンライン会議の様子

地域福祉に貢献された功績表彰



多年にわたり福祉活動を通して地域福祉に貢献された功績に対して、三団体と1名の方へ、茅ヶ崎市社会福祉協議会会長感謝状が、授与されました。



湘北地区コミュニティサロン
(松風台 代表：有元佳子さん)



甘沼子育てサロン スウィートポテト
(甘沼 代表：沼上純子さん)



カフェみずぎ
(みずぎ 代表：春日紀子さん)



鶴が台団地の倉林民子さん

例年、秋に開催される茅ヶ崎市社会福祉大会の壇上にて感謝状が授与されるのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第41回茅ヶ崎市社会福祉大会が中止となり、個別に感謝状が贈呈されました。詳細は茅ヶ崎市社協 HP 参照 (<http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/pdf/fukushitaikai20201123.pdf>)



香川公民館「ミニ展示会、ミニ発表会」

香川公民館でミニ展示会、ミニ発表会が行われ、湘北ボランティアセンターがミニ展示会で、ボランティア募集の展示を行いました。ボランティアを随時募集しております。



湘北地区社会福祉協議会 年度活動総括 ～令和二年度を振り返って～ 杉山会長



本年度は、コロナ禍に明け、コロナ禍の一年間でした。今、我々に出来ることは感染しないこと、家族や周りの方々に、感染させないことが大切です。新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、第三波の拡大とともに感染者の急増のペースは、医療現場への負担が増大して、医療崩壊の瀬戸際です。医療従事者への思いやりと、感謝の気持ちは大切です。人の命を最優先に行動することが大切です。ぜひこの困難な状況を打開するには、感染しない、感染させないために多くの人との接触を避け自粛することが必要です。この困難な時期を乗り越えるのも我々の行動規制が大切です。

「命有っての物种」です。ぜひ皆様と一緒にこの困難な時期を乗り越えれば、明るい未来が開けます。我々に与えられた使命と思って、皆様と一緒にこの難局を乗り越えて、新しい未来に向かって努力して、絆を強め前進したいと思っています。皆様と一緒に頑張りましょう。



<ホームページをご覧ください>

湘北地区社会福祉協議会のホームページでは、分科会の活動やボランティアセンターの活動、地域のサロン情報を掲載しています。



<http://shakyo-chigasaki.sakura.ne.jp/shakyo-shouhoku/>

インターネット検索
は「湘北社協」

<広報誌のアンケート>

広報湘北へアンケートお寄せください。

締め切り日
3月31日



<詐欺に注意>

他人にクレジットカードを預けたり、暗証番号を教えるなどは絶対しないでください。多くの詐欺被害が発生しております。

編集後記

今年度、広報委員会では、コロナ感染拡大防止の為に活動を自粛し、年間2回の発行を断念し、1回のみので広報誌発行となりました。発行のお休み期間中に分科会メンバーで各自、広報誌の今後の方向性などをじっくり考えていたところ、読者に対してアンケートを取ってみることが発案されました。上記にアンケートフォームがありますので、是非、アンケートにご協力をお願いします。

コロナ禍において、地区社協として活動を活発に行えない中、どうやったら地域とつながれるか、模索している中、地域福祉を考える懇談会ではオンライン会議を実施しました。今後多様化する世の中に対応すべく活動の場を広げるため、オンライン活用の一歩、踏む出すことが出来ました。(広報委員会一同)